

（傍線部分は改正部分）

改正後

第四号書式

死体解剖資格認定申請書

住所

氏名

年 月 日生

一 医師又は歯科医師であるときは、その免許を受けた年月日及び医籍又は歯科医籍登録番号

二 主として行おうとする解剖の種類（系統、病理、法医の別）

三 主として行おうとする場所

四 罰金以上の刑に処せられたことの有無（あるときはその罪及び刑）

右により資格を申請されたい。

年 月 日

収入
印紙

氏名

（印）

厚生労働大臣

殿

（注意） 氏名については、記名押印又は署名のいずれかにより記載すること。

改正前

第四号書式

死体解剖資格認定申請書

住所

氏名

年 月 日生

一 医師又は歯科医師であるときは、その免許を受けた年月日及び医籍又は歯科医籍登録番号

二 主として行おうとする解剖の種類（病理、系統、法医の別）

三 主として行おうとする場所

四 罰金以上の刑に処せられたことの有無（あるときはその罪及び刑）

右により資格を申請されたい。

年 月 日

収入
印紙

氏名

（印）

厚生労働大臣

殿

（注意） 氏名については、記名押印又は署名のいずれかにより記載すること。

改正後

第五号書式

解剖経験証明書

氏名

年 月 日生

一 死因解剖業務に従事した学校若しくは病院又はその他の施設の名称

二 右の施設において解剖業務に従事した年数

三 右期間中に解剖業務に従事した死体件数

(削除)

右の通り相違ないことを証明する。

年 月 日

大学(病院)

教室(研究室)主任 氏名

(印)

右証明する。

年 月 日

大学(病院)長

氏名

(印)

改正前

第五号書式

解剖経験証明書

氏名

年 月 日生

一 人体解剖に関連ある研究業務に従事した学校若しくは病院又はその他の施設の名称

二 右の施設において当該研究業務に従事した年数

三 右期間中に解剖又は解剖補助の業務に従事した死体件数

四 人体以外の解剖に関連ある研究業務に従事した者については右各項に準ずる事項

右の通り相違ないことを証明する。

年 月 日

大学(病院)

教室(研究室)主任 氏名

(印)

右証明する。

年 月 日

大学(病院)長

氏名

(印)

改正後

第五号の二書式

履歴書

(ふりがな)
氏名

現住所

年 月 日生

一 学歴

年 月 日	学校名、学部名	入学、卒業

二 職歴

自年月日 至年月日	施設名	所 属	職 名	備 考

三 解剖歴

施設名	その施設一 年間の平均 剖検数	自年月日 至年月日	剖検数	解剖の種類	指導者氏名

四 指導者の略歴

--

(注意)

1 二の職歴中「所属」とは、例えば解剖学講座、病理学講座、法医学講座、医病施設の前線部門等。

「備考」の欄には、非常勤の場合は、その勤務状況を記載すること。

(削除)

2 四の「指導者の略歴」には、大学教授、准教授である場合は、その旨、死体解剖資格認定を受けた者である場合は、その者の所属と認定番号を記載すること。

改正前

第五号の二書式

履歴書

(ふりがな)
氏名

現住所

年 月 日生

一 学歴

年 月 日	学校名、学部名	入学、卒業

二 職歴

自年月日 至年月日	施設名	専門の科名	職 名	備 考

三 解剖歴

施設名	その施設一 年間の平均 剖検数	自年月日 至年月日	自ら主として 行つた剖検数	解剖の種類	解剖補助をした件数	指導者氏名

四 指導者の略歴

--

(注意)

1 二の職歴中「専門の科名」とは、医学又は歯学において専門として研究又は従事している科名、例えば病理、外科、内科等。

「備考」の欄には、非常勤の場合は、その勤務状況を記載すること。

2 三の解剖歴中「解剖の種類」には、屍所解剖の場合には、その部位を記載すること。

3 四の「指導者の略歴」には、大学教授である場合は、その旨、死体解剖資格認定を受けた者である場合は、その番号を記載すればよい。